



令和4年1月31日



分散登校開始

新型コロナウイルス特別警報Ⅱが発令され、感染拡大防止のため1月26日(水)より分散登校が始まりました。学校でも Meet や Zoom 接続の練習を行いました。先日お家からのオンライン接続テストでは、ご協力いただきありがとうございました。おかげさまで、初日からスムーズにオンライン授業を始めることができました。昨年の分散登校では、Zoom を利用してオンライン授業を行っていましたが、今回は使いやすさやセキュリティ面を考慮し、Classroom に連携している Google Meet も活用していくことになりました。今後は、目的に合わせて、Google Meet や Zoom を使い分けて授業を進めていきたいと思えます。

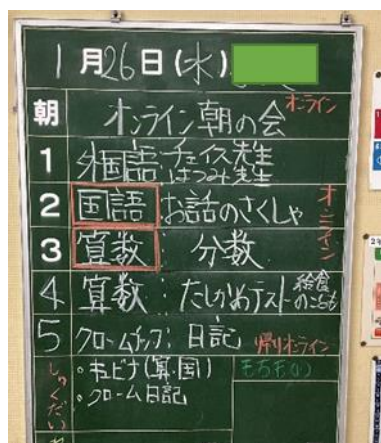


1日の日課

分散登校初日、2年生のオンライン授業をのぞくと、昨年度の経験から、マイクのオン・オフを使いこなして発言していました。家にいる子たちの声もたくさん聞くことができ、同じ空間にはいないのに、不思議とみんなで授業をやっているような空気が流れていました。また、画面越しではあるけれども、友だちの顔が見られるうれしさが伝わってきました。そしてどのクラスも、画面の向こうの友だちが聞き取りやすいように、いつも以上に静かにしていたり、伝わるように意識しながら発言をしたりしている姿がありました。みんなと会えないさみしさや、不便さなど大変な面もある中で、先生も子どもたちもみんなが思いやり、協力しながらオンライン授業をしているように感じられました。

また、Meet などとつないでいないオフラインの授業中には、個々で調べ学習やプリント、Qubenaなどで学習を進めたり、図工や理科の実験、家庭科でのミシンや音楽、生活科・総合などで、体験的な授業を行ったりしていますが、そういった中でも、Classroom の中で、同じワークシートに振り返りを書き込んでいたり、黒板や付箋に明日登校するグループの友だちに向けたメッセージを書くなどして、そこには居ないけどいる友だちとつながろうとする姿がありました。

分散登校では、Classroom に明日の予定や連絡、課題をあげるなど、一人一台タブレットをフル活用しています。



<1日の日課(5時間日課)>

- ・オンライン朝の会(Meet や Zoom)
- ・オンライン授業2時間
- ・オフライン授業3時間(個別・体験型学習)
- ・オンライン帰りの会





オンライン授業のようす

3年生 国語「体のつくりの巧みさを読む『ありの行列』」第2時 授業の振り返り

学習材：人間が持つ「五感」 学習課題：ありにも五感ってあるのかな？教科書の本文から調べてみよう。



教科書の叙述を読み深めていく中で、「ありのからだのつくりについて調べたい！」という子どもたちの気持ちをさらに高めていくことができないかと考えていました。教科書の叙述のありの一つ一つの行動が、人間の体でいうと、どの器官の働きに起因しているのかを整理して読んでいく中で、より具体的にありの体の巧みさを感じていけないのではないかと考えました。

授業の冒頭で子どもたちに「五感」という言葉を紹介し、その五感によって自分たち人間は様々なことを感じ取って行動していることを共有しました。「じゃあ、ありはどうなんだろう？」と子ども

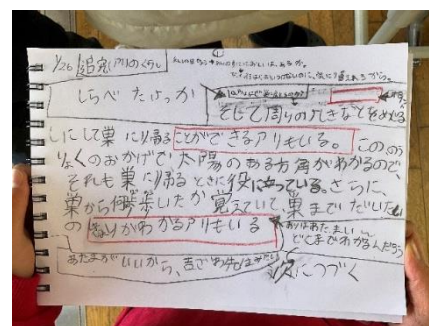
たちは教科書を再度読み始めました。オンラインの子どもたちも、教室で授業をしている子どもたちと同じように教科書を丁寧に読んでいた姿がありました。予想の段階では、さすがに耳や舌はないんじゃないかと考えていた子どもたちでしたが、「五感でいうと…」という、新たな視点を得たことにより、耳や舌はないかもしれないけど、それを感じ取っている様子は間違いなくありそうだ、耳や舌の代わりにするものを持っているのかもしれないと考えていきました。

その後、改めて叙述から気づいたことを共有する場面。

- ・えさを探し回る中で、ちゃんと甘い砂糖を見つけたってことは「味」を感じているんじゃないかな、ということとは舌もある？(Aさん)
- ・砂糖は、あまりにおいしくないと思うけど、私たちも本気で嗅げばにおいがあるのかも(Mさん)
- ・砂糖を見つけて、巣に仲間を呼びに行けるってことは、何か言葉も持っている？触覚で話す？(Yさん)
- ・「公園のすみにいる」ってあるから、人間の足音を聞いて、危険な場所を回避しているのかも？(S君)
- ・S君につけたしで、触覚で、どの場所が隅っこなのか探しているのかも。(Aさん)

画面の向こうの子どもたちも、友だちの話とつなげながら自分の発見や考えを話していきます。つばやきが少ない分、いつもとは授業のテンポが違うのですが、オンラインであっても教室での授業と変わらずに友だちと一緒に追究を進める子どもたちの様子がありました。

オンラインを切った後、教室の子どもたちとは「砂糖と塩のおいのかぎ分け」「手で触って、何とか両者の違いが分からないか」も試してみました。こうした場面は対面の授業だからこそなのですが、画面の向こうの子どもたちもオンライン切断後に、それぞれの家で「わたしの追究」を始めていたようでした。次の日「先生、見て！」と持ってきたノートには、授業後に自分で調べたことがぎっしりと書かれていました。(文責 3年1組担任)



オンライン授業のやくそく

- デバイスの破損が増えています。予備機の台数に限りがありますので、持ち運び方や使用方法に十分気を付け、大切に使いましょう。
- 分散登校中は毎日タブレットを持ち帰りますが、次の日、学校でタブレットを使用する予定がない場合は、家に置いてきてもかまいません。
- オンライン授業中は、家から参加する場合も、飲食は控えましょう。
- タブレットを使用する時は、故障を防ぐため、飲み物を近くに置かないようにしましょう。
- Meet や Zoom の背景に家の様子が映りこむのを防ぐ場合、背景の設定は「ぼかし」を選択してください。